

## 1. ワークショップ記録

### (1) 第1回ワークショップ

日 時：平成 20 年 7 月 1 日（火）

場 所：小平・村山・大和衛生組合 3 階 大会議室

#### 1. テーマ

3 グループに分かれてワークショップ形式で、以下のテーマを中心に議論を行った。

普段のごみの排出などに関する問題点は？

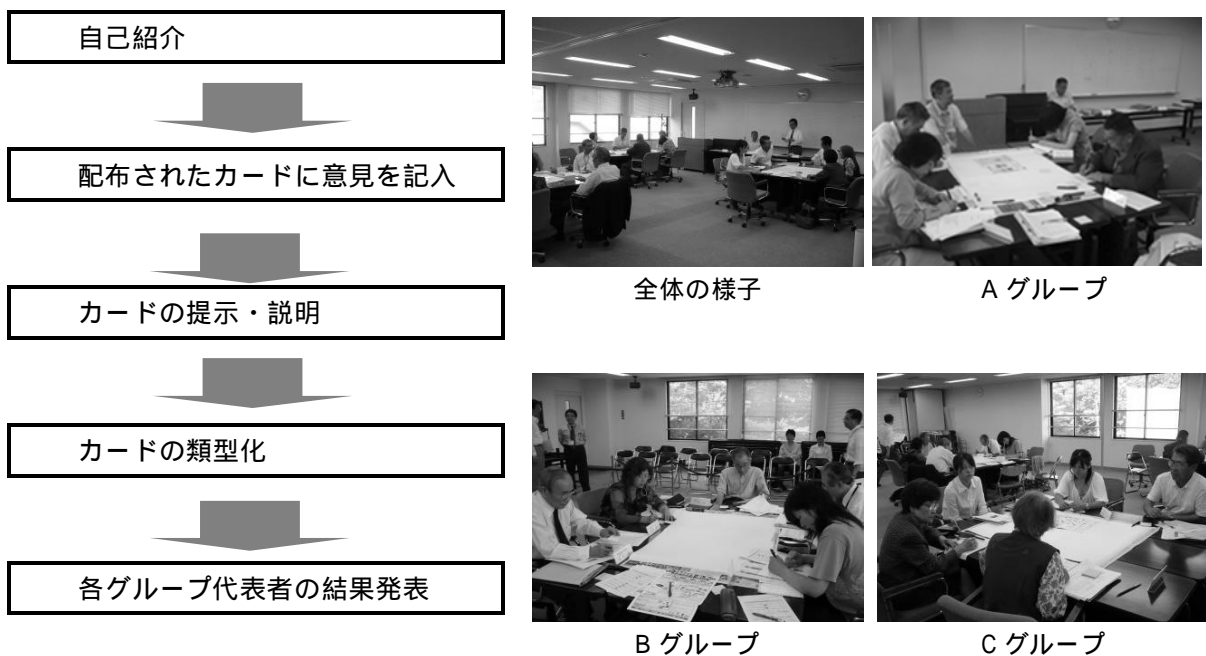
#### 2. グループ

普段のごみの排出などを中心に、話し合っていたために居住市ごとのグループに分かれて行った。

グループ	A	B	C
該当市	(小平市)	(東大和市)	(武蔵村山市)
メンバー	後藤副座長 遠藤委員 白水委員 霜出委員	寺嶋座長 小林委員 中村委員 近江委員 山岐委員	林 委員 原田委員 鈴木委員 平本委員

#### 3. ワークショップの流れ

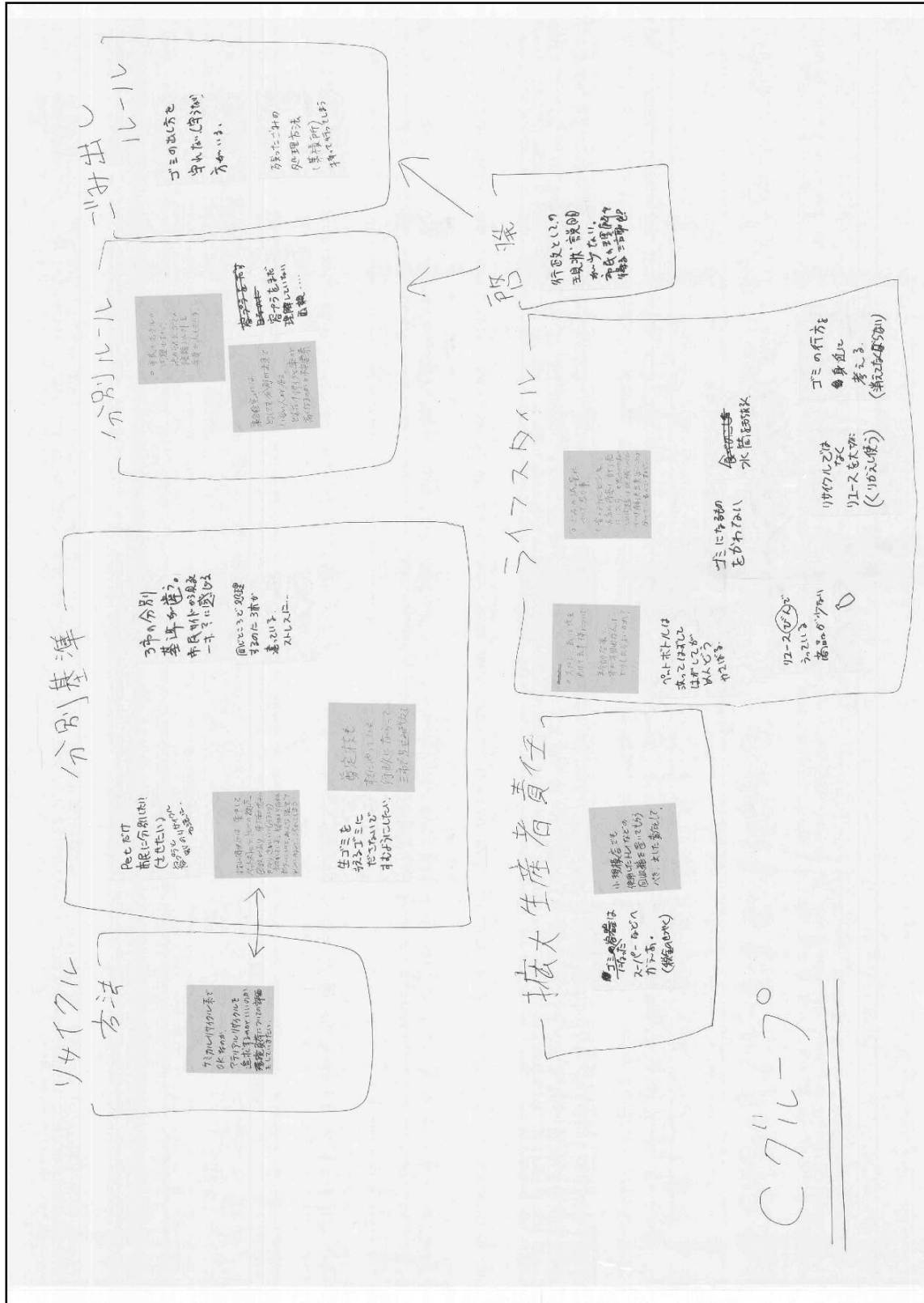
当日のワークショップの流れは以下に示すとおりである。







[Cグループ(武蔵村山市)]



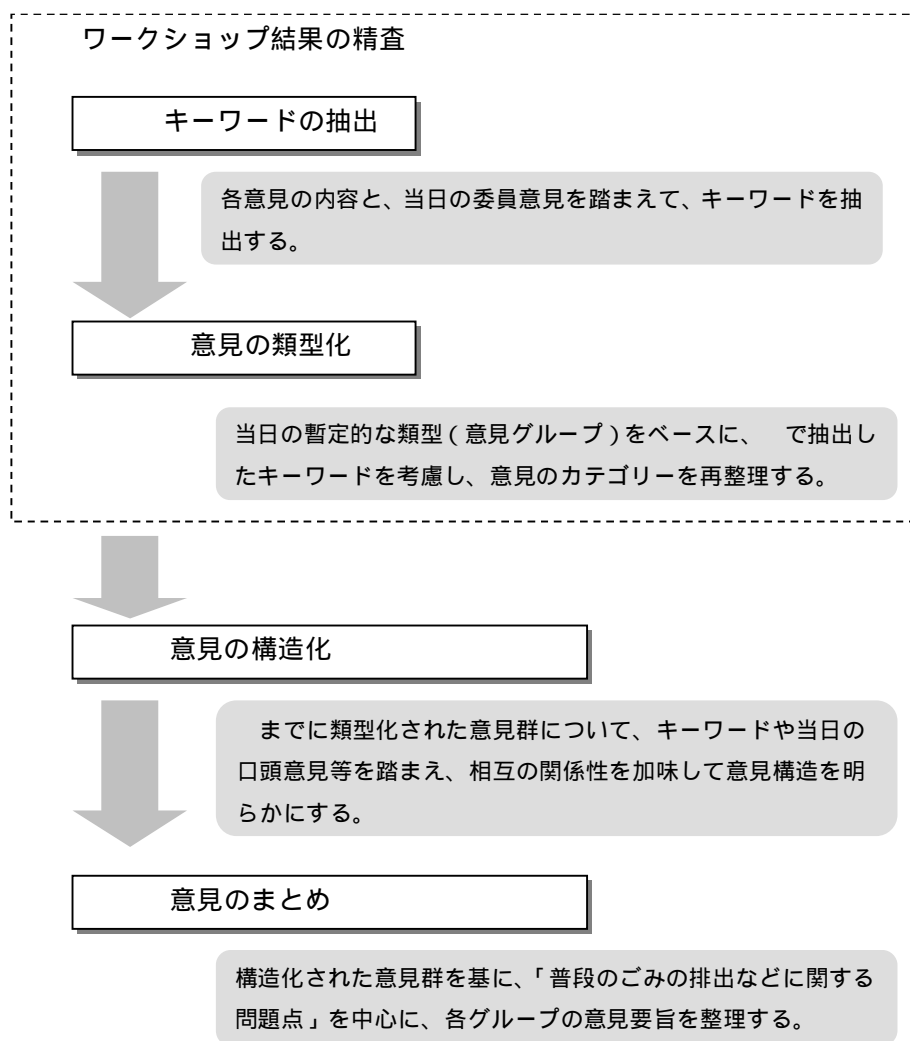
Cグループ

## 5. 各グループの意見解析

ワークショップにおいて、各委員から提示された意見内容と、当日の口頭での説明内容を再整理し、各意見のキーワードを抽出した( )。さらに、それらを踏まえて、複数のカテゴリーに分類( )し、それぞれの意見の関係性を明らかにする( )とともに、得られた意見構造をベースに各グループの意見要旨をまとめた( )。

これらの解析結果を次頁以降に示す。

### ワークショップ結果の解析フロー



# Aグループ(小平市)

(小平市)

## キーワードの抽出

カードの内容	コメント
ごみも毎年多種多様になり、わからないことが有りますので、毎年パンフレットを、出して頂きたいと思えます。	ごみの出し方パンフレットは、変化する多様なごみ種類に対応させて、捨て方などの情報の更新が必要である。
知らないうちに、粗大ごみの申込番号が変わっていた。変更は、周知徹底してほしい。	重要な変更事項についての周知徹底が必要である。
学校で環境学習を進めるべき	ごみの正しい捨て方や循環型社会に関して、小学校から環境学習をきちんと進めるべきである。
収集車が最近音楽無しで来ます。いろいろ苦情も有るかと思いますが、従来通り流して下さい。	出し忘れないような収集方法(収集車の音楽アナウンス)がよい。
資源ごみの日、収集車がずれずれに来る(品目ごとにくる)他の品目が残っているの、出しそびれた人がまだきてないと勘違いし出す。	品目数の多い資源ごみの日に、「後出し」の出ないような収集方法がよい。
先日参加致しました施設見学会において東大和市の施設は非常に良かったなと思えました。(品目そろっていい 木くず破砕機、ビン(色分け)、圧縮機等機械が新しい、選別(カン・鉄)ライン)	施設整備にあたっては、処理機械など効率的な内容としたい。
(見学した感想)施設に差があった。選別作業の合理化or人による作業など	施設整備にあたっては、合理的な選別作業、全体の作業効率、労働環境等について配慮が必要である。
イチヨウの葉など、一度に大量に出ることがあるが、少しずつしか持っていきたくない。	ごみによっては一時的に大量に出るものがあり、1回の収集の限度量を超えてしまう。
汚れている容器は、洗ってきれいにして廃棄することになっているが、どの程度まで洗浄すれば良いのかわからない。	汚れているプラ容器等を洗浄するよう言われるが、どの程度かわかる写真等で示す必要がある。(パンフレット)
スプレー、クリーナー等の中身を常に必ず使い切るというのは現実的に不可能だ。化学物質を含むような物の廃棄方法のより詳しいガイドラインが欲しい。	残ったスプレー缶等の化学物質が、空气中に放出されるのはよくない。有害な化学物質の詳しい廃棄方法のガイドラインがほしい。
資源回収でビン・カン・ペットボトルを個々にビニール袋に入れていきますが、有害物質を考えると、専用の箱を用意して出す方がベストではないでしょうか。	ビン・カン・ペットボトルを専用箱で回収するべきである。
粗大ごみシールを貼ってから取りに来るまで数日かかる。	粗大ごみの収集に時間がかかるのでサービス向上してほしい。
牛乳パックなど集めてくれないスーパーマーケットがある。	牛乳パックの拠点回収所の拡充を進めたい。
現在の小平市のごみの排出については充分で言う事(回収回数)なしですが、テレビ他電化製品の引取り価格が非常に高く感じられる。	家電リサイクル料金が非常に高い。
もっと細かく。	ごみ・資源の品目数は、もっと細かくしたほうが減量になる。
分別が多く大変だ。	ごみ・資源の品目数が多すぎて対応できていないので、減らすべきである。
よく間違える。忙しいと・・・(今でも大変)	
現状でもよい。	ごみ・資源の品目数は、現状でよい。
ごみは市民全体をまきこんでいくのが大切。	ごみ対策は、全市民を巻き込んだ計画づくりや、ごみ減量行動を喚起していくことが重要である。
小平市 市民ががんばってます。分別まじめにやっています。	小平市のごみ処理基本計画改訂作業では、市民公募も10名参加するなど、市民も熱心に取り組んでいる。
全く関係のない人がごみを捨てにくる。(小平団地)・家庭ごみ・大量の不法投棄(事業系)・保育園の送迎時に・市外の人も多い	小平団地では、外部の人によるごみ捨てがあり困っている(家庭系、事業系とも)。
ごみをカラスがちらかしてしまう。	集積所に出したごみをからすが散らかしてしまうので、対策が必要である。

キーワード	カテゴリ
パンフレット(出し方)	広報
変更の周知	
環境教育	
収集方法	収集
収集方法	
対象品目・ごみ処理機器	施設
選別作業	
大量の剪定枝・葉	ごみの出し方
容器包装プラスチック	
有害物質	
資源回収方法	
粗大ごみサービス	
牛乳パック拠点回収	
家電リサイクル料金	
品目数	品目数
市民と協働で	市民参画
市民	
ごみ捨てマナー	困っていること
カラス	

意見の類型化

広 報

ごみも毎年多種多様になり、わからないことが有りますので、毎年パンフレットを、出して頂きたいと思ひます。

知らないうちに、粗大ごみの申込番号が変わっていた。変更は、周知徹底してほしい。

出し方

学校で環境学習を進めるべき

収集(車)

収集車が最近音楽無しで来ますが、いろいろ苦情も有るかと思ひますが、従来通り流して下さい。

資源ごみの日、収集車が車がずれずれに来る(品目ごとにくる) 他の品目が残っているの、出しそびれた人がまだきてないと勘違いし出す。

品目数

もっと細かく。

分別が多く大変だ。

現状でもよい。

よく間違える。忙しいと・・・ (今でも大変)

ごみの出し方

わかりにくいこと・不便なこと

イチヨウの葉など、一度に大量に出ることがあるが、少しずつしか持って行ってくれない。

汚れている容器は、洗ってきれいにして廃棄することになっているが、どの程度まで洗浄すれば良いのかわからない。

スプレー、クリーナ等の中身を常に必ず使い切るといのは現実的に不可能だ。化学物質を含むそのような物の廃棄方法のより詳しいガイドラインが欲しい。

資源回収でビン・カン・ペットボトルを個々にビニール袋に入れていきますが、有害物質を考えると、専用の箱を用意して出す方がベストではないでしょう

粗大ごみシールを貼ってから取りに来るまで数日かかる。

牛乳パックなど集めてくれないスーパーマーケットがある。

(収集回数など)現在の小平市のごみの排出については充分で言う事なしですが、テレビ他電化製品の引取り価格が非常に高く感じられる。

困っていること

全く関係のない人がごみを捨てにくる。(小平団地) ・家庭ごみ ・大量の不法投棄(事業系) ・保育園の送迎 ・市外の人も多い

ごみをカラスがちらかしてしまう。

市民参画

ごみは市民全体をまきこんでいくのが大切。

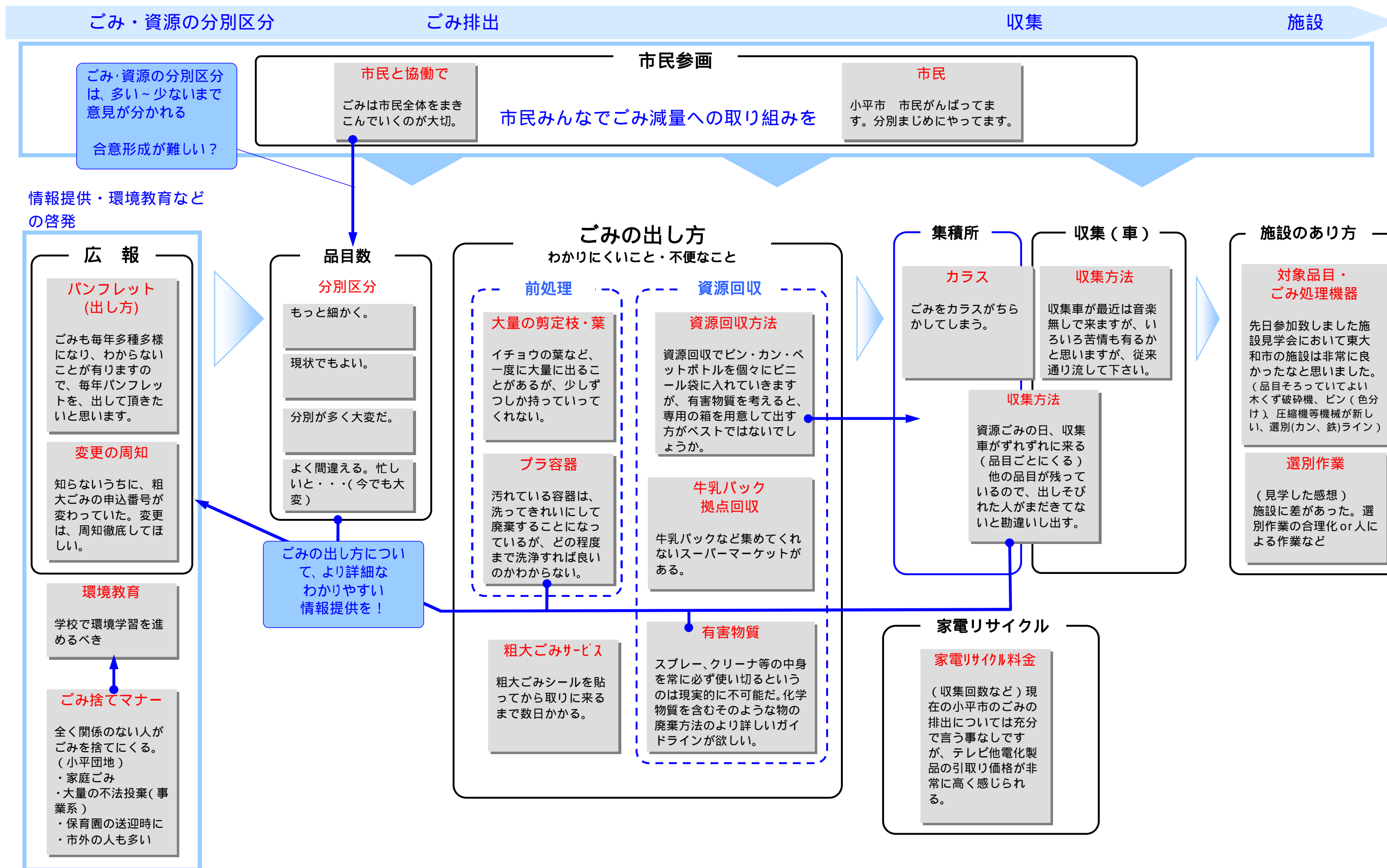
小平市 市民ががんばってます。分別まじめにやっています。

施 設

先日参加致しました施設見学会において東大和市の施設は非常に良かったなと思ひました。(品目そろっていい 木くず破砕機、ビン(色分け)、圧縮機等機械が新しい、選別(カン、鉄)ライン)

(見学した感想) 施設に差があった。選別作業の合理化 or 人による作業など

意見の構造化







## B グループ（東大和市）

### キーワードの抽出

カードの内容	コメント	キーワード	カテゴリ
容器包装を使わないような流通システムが必要と思う。	消費の前段階を含めた循環型の社会システムとなっていない点が問題である。	流通システム	事業者責任
廃プラの製造・販売業者に、もっと最終処理まで責任を持ってもらう。	事業者側に役割や責任をさらに求めていくことが必要である。	処理責任	
来年度から全市で廃プラ収集が行われるが、店頭回収をしたり（増やしたり）製造者責任でメーカーに回収処理を行って欲しい。少しずつでも。	事業者側の役割として回収ルートや処理費用の負担などをさらに求めていくことが必要である。	店頭回収	
店頭回収を基本にし、税負担を減らす。	店頭回収を進めることにより、税負担を軽減することができ、結果的に責任の所在についても明らかになる。	費用負担	
ライフスタイルの変更。レジ袋。	現代のライフスタイルそのものに問題があり、レジ袋を断るなどの行動が必要である。	ライフスタイル	社会システム
大量消費、大量リサイクルは何か変だ・・・	リサイクル重視に問題があり、リデュース・リユースを優先することが必要である。	3R優先順位	
ごみ（特に廃プラ）の減量に大々的な施策を具体的に実施すべきと考える。	減量化を目指した実施施策が不十分であり、定量的に効果のある施策を展開する必要がある。	減量施策	リデュース（減量化）
家庭ごみも有料化するとごみが減る。	大きな減量効果が得られる家庭ごみの有料化についても、周辺市のように導入を検討しても良いのではないかと。	有料化	
廃プラについては、リサイクル方式に問題あり。リユースを主体として。	ワンウェイ容器がほとんどであるプラスチック製容器包装から、リユース可能な容器へシフトしていくことが必要である。	3R優先順位	リユース（再使用）
家庭の剪定枝は、自然に還すべきだ。	剪定枝についても、焼却処理ではなく、2市で行っているように自然に還元するようリサイクルが必要ではないかと。	剪定枝	リサイクル（再利用）
リサイクルを促進するための経済的手法を導入すべきである。学校・子どもクラブ	学校や子どもクラブなどを活用し、助成金などを導入することで、リサイクルを促進することが出来るのではないかと。	経済的手法	
紙パックは、拠点回収だけでなく、資源ごみの日に回収して欲しい。	拠点回収だけでなく、行政収集も実施し、排出機会を多様化することで、リサイクルを拡大することが出来るのではないかと。	紙パック	
生ごみ処理について、ディスプレイがついているマンションが増えてきたが、水と一緒に流してしまうのと焼却するのは、どちらが環境に悪いのか？	ディスプレイの是非が不明確であり、手法間の環境評価が市民には分からない。	ディスプレイ	生ごみ
生ごみで、ガスを発生して利用する。	可燃ごみに占める割合が非常に大きい、生ごみをガス化利用することが、処理量を減らす有効な手段ではないかと。	バイオガス化	
生ごみ処理機の普及の中止	CO2発生量で評価した場合、全く効果の無いものであり、早急にやめるべきである。	生ごみ処理機	
ごみの減量化のために環境教育・住民教育を行って欲しい。	子どもへの環境教育が、将来的な循環型社会の実現に必要であり、大人でも減量の必要性を十分に理解していない人がいるので、周知が必要	環境教育	情報
リサイクル可能なプラの分別が分からない。情報の周知を。	プラスチック製品は種類が多様であり、分別の仕方が分かりにくい。さらなる情報提供が必要ではないかと。	分別区分	
家の中のごみの分別に場所をとられる。	現在の分別品目数に対して、十分な収集頻度となっていないため、家庭での保管が多くなってしまふ点が問題である。	収集頻度	分別
現暫定リサイクル施設の改善を行い維持したら（良いのではないかと）ごみ減量の結果をみる。	リサイクルに優先されるべき、リデュース・リユースの効果を踏まえたリサイクル施設の計画を行うべきではないかと。	施設の最適化	施設のあり方
容リプラ専用施設を一度視察 - 説明受けたほうが分かりやすいと思う。	周辺環境に影響の少ない、優良な施設もあり、そのような施設についても十分に把握した上で議論するべきではないかと。	実態把握	

意見の類型化

事業者責任

容器包装を使わないような流通システムが必要と思う。

廃プラの製造・販売業者に、もっと最終処理まで責任を持ってもらう。

来年度から全市 廃プラ収集が行われるが、店頭回収をしたり(増やしたり)製造者責任でメーカーに回収処理を行って欲しい。少しずつでも。

店頭回収を基本にし、税負担を減らす。

Reduce (減量化)

ごみ(特に廃プラ)の減量に大々的な施策を具体的に実施すべきと考える。

家庭ごみも有料化するとごみが減る。

Reuse (再使用)

廃プラについては、リサイクル方式に問題あり。リユースを主体として。

Recycle (再生利用)

家庭の剪定枝は、自然に還すべきだ。

リサイクルを促進するための経済的手法を導入すべきである。学校・子どもクラブ

紙パックは、拠点回収だけでなく、資源ごみの日に回収して欲しい。

社会システム

ライフスタイルの変更。レジ袋。

大量消費、大量リサイクルは何か変だ...

生ごみ

<生ごみ処理について>ディスポーザーがついているマンションが増えてきたが、水を一緒に流してしまうのと焼却するのは、どちらが環境に悪いのか?

生ごみで、ガスを発生して利用する。

ごみ処理機の普及の中止

情報

ごみの減量化のための環境教育・住民教育を行って欲しい。

リサイクル可能なプラの分別が分からない。情報の周知を。

分別

家の中のごみの分別に場所をとられる。

施設のあり方

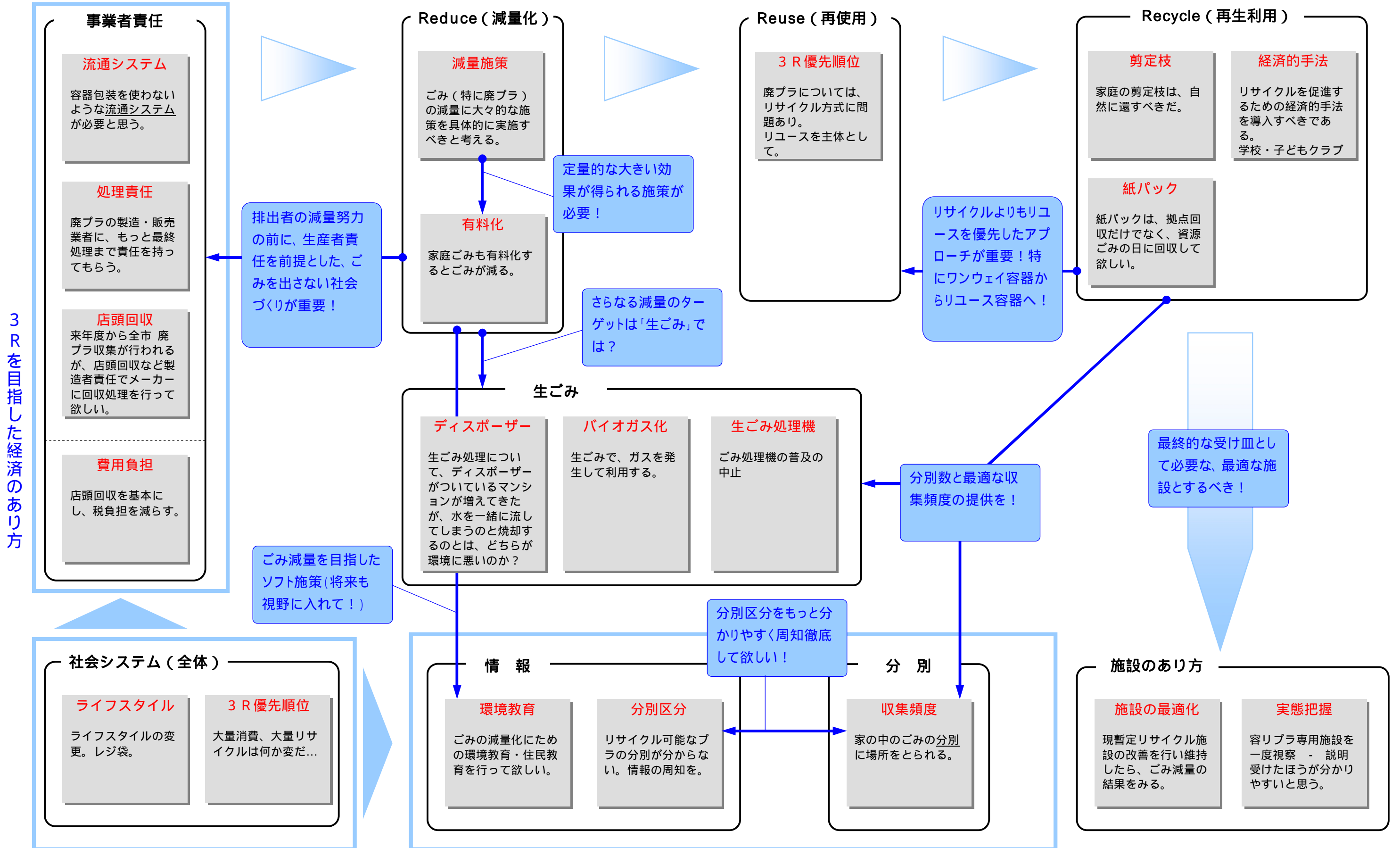
現暫定リサイクル施設の改善を行い維持したら、ごみ減量の結果をみる。

容リプラ専用施設を一度視察 - 説明受けたほうが分かりやすいと思う。

ト  
レ

意見の構造化

優先度： 高 (ごみ発生 処理プロセス) 低



3Rを目指した経済のあり方

市民と社会のスタイル

3Rを目指した行政の役割



## C グループ (武蔵村山市)

### キーワードの抽出

カードの内容	コメント	キーワード	カテゴリ
ケミカルリサイクル系でOKなのか。マテリアルリサイクルを迫るのがいいの。環境負荷についての評価をしていきたい。	容ブラについて、リサイクル手法間の環境負荷の違いが分からない。評価の結果、より環境負荷の少ない方法でリサイクルをして欲しい。	容器包装 プラスチック	リサイクル 方法
Petだけ市民に分別したい(させたい)。容ブラと別のリサイクル方法に。	市ではペットボトルを容ブラと一緒に収集しているが、市民の意識を高めるために、ペットボトルだけ分別させた方がよい。	ペットボトル	分別基準
村山団地には集中してペットボトルとトレーの拠点回収があり、東大和並みになりきれいに出来ている。それがリサイクルセンターに行くともみな混ざってラインに乗るので、汚れてしまう。	排出時点できれいに洗って分別されているものについても、市のリサイクル施設で混ぜてしまう。分別されているものは混ぜないで欲しい。	容器包装 プラスチック	
同じところで処理するのに3市が違っている。ストレスに・・・	同じ施設で処理している3市については、分別区分を統一した方がわかりやすい。	分別区分統一	
生ごみを燃えるごみに出さないですむようにしたい。	燃えるごみの中では大きな割合を占める生ごみを分別収集・資源化して欲しい。	生ごみ	
3市の分別基準が違う。市民サイドから見ると、ちょっと?に感じる。	同じ施設で処理している3市間で、分別区分が異なっていることに違和感を感じる。分別区分を統一した方がわかりやすい。	分別区分統一	
剪定枝もすでにやっている。3市で足並みをそろえて。	市では剪定枝の資源化も実施している。他の2市でも同様に資源化して、足並みを揃えて欲しい。	分別区分統一	
ごみになった容器はスーパーなどへ返す(税金の節約)。	容器は販売店が責任を持って回収するべきでありそれが市の処理費の節約、ひいては税金の節約につながる。	店頭回収	拡大生産者 責任
小規模店でも使用したトレイなどの回収箱を置いてもらうべき。出した責任として。	容器は販売店が責任を持って回収するために、規模に係わらずトレイなどの回収箱を置くべきである。	店頭回収	
スプレー缶に穴をあけて出す件について 年齢的な面と手が不自由な人はどうしたらよいのか?	スプレー容器に穴を開けたくても出来ない人もおり、そのような容器が社会の中に多いことが問題である。	スプレー	容器包装
ごみの減量について思うこと:昔のようにピンをお店に持参し計り売りにしたらと思うんですがこの問題は地域レベルでは解決出来ないことは分かっているのですが・・・	昔は多かったリユースピンが、今は非常に少ない。昔のライフスタイルを見習う必要がある。	びん	
リユースピンで売っている商品が少ない。	自分で洗ったびんをお店に持って行って、中身だけ入れてもらうのがよい。クーポンではそのような取り組みをしており、私も実行している。	びん	
ペットボトルは洗って外して剥がしてが面倒。かさばる。	今は昔と違ってペットボトルが大量に普及しているが、容器の構造上分別がしにくい、かさばる等問題が多い。	ペットボトル	
ごみになるものを買わない。	ごみを減らすために、まずは、ごみになるものを買わないことが必要である。	発生抑制	ライフ スタイル
水筒を持ち歩く。	ペットボトルを減らすために、水筒を持ち歩くのが良い。	発生抑制	
リサイクルではなく、リユースを大切に(繰り返し使う)。	繰り返し使うことが大切。リサイクルよりリユース中心の社会を。	3R優先順位	
ごみの行方を身近に考える(消えてくならない)。	ごみは自分達が出しているのに、意識の低い人が多い。出した後なくなるわけではないので、その先の処分までを身近な問題として考えるべきである。	意識	
市民のモラルの問題ですが、決められたごみの種類以外を平気で出している。	その日に決められたごみを出せない人がいる。モラルの問題であり、1人1人の意識の向上が望まれる。	ごみマナー	分別ルール
集合住宅にはどうしても分別が出来ていない人が居る。どれだけリサイクル率が高くなるのかと不安要素。	アパート・マンションには分別できない住民が多く、ここを解決することによって、リサイクル率は格段に上がるのではないかと。	ごみマナー	
容ブラをまだ理解していない両親・・・	どれが容ブラに当たるのか、理解できていない人もいる。さらなる情報提供が必要ではないかと。	容器包装 プラスチック	
行政としての現状説明が少ない。市民の理解を得る活動を!	住民の協力を得るためには、行政がもっと積極的に住民に対する説明を行うことが必要であり、分別方法についての説明会等を開催して欲しい。	行政説明	啓発
ごみの出し方を守れない(守らない)方がいる。	ごみの出す日を間違える人がいる。モラルの問題であり、1人1人の意識の向上が望まれる。	ごみマナー	ごみ出し ルール
残ったごみの処理方法(集積所)持って行ってしまふ。出す日を間違えて出されたごみも、気付いたら収集されている。	ごみの出し方を間違えても、いつの間にか収集されてしまったため、また同じことが繰り返されてしまふ。間違えた人に責任を感じさせる仕組みが必要なのではないかと。	排出者責任	

意見の類型化

リサイクル方法

ケミカルリサイクル系でOKなのか。マテリアルリサイクルを追及するのがいいのか。環境負荷についての評価をしていきたい。

Pet だけ市民に分別したい(させたい)。容プラと別のリサイクル方法に。

生ごみを燃えるごみに出さないですむようにしたい。

同じところで処理するのに3市が違っている。ストレスに・・・

分別基準

3市の分別基準が違う。市民サイドから見ると、ちょっと?に感じる。

剪定枝もすでにやっている。3市で足並みをそろえて。

村山団地には集中してペットボトルとトレイの拠点回収があり、東大和並みにかなりきれいに(Aランク)出されている。それがリサイクルセンターに行くときみんな混せてラインに乗るので、汚れてしまう。

分別ルール

市民のモラルの問題ですが、決められたごみの種類以外を平気で出している。

集合住宅にはどうしても分別が出来ていない人が居る。どれだけリサイクル率が高くなるのかと不安要素。

容プラをまだ理解していない両親・・・

ごみ出しルール

ごみの出し方を守れない(守らない)方がいる。

残ったごみの処理方法(集積所)。出す日を間違えて出されたごみも、気付いたら収集されている。

拡大生産者責任

ごみになった容器はスーパーなどへ返す(税金の節約)。

小規模店でも使用したトレイなどの回収箱を置いてもらうべき。出した責任として。

ライフスタイル

スプレー缶に穴をあけて出す件について年齢的な面と手が不自由な人はどうしたらよいか?

ペットボトルは洗って外して剥がしてが面倒。かさばる。

水筒を持ち歩く。

リユースビンで売っている商品が少ない。

ごみになるものを買わない。

ごみの行方を身近に考える(消えてなくならない)。

リサイクルではなく、リユースを大切に(繰り返し使う)。

ごみの減量について思うこと:昔のようにビンをお店に持参し計り売りにしたらと思うんですが。この問題は地域レベルでは解決出来ないことは分かっているのですが・・・

啓発

行政としての現状説明が少ない。市民の理解を得る活動を!

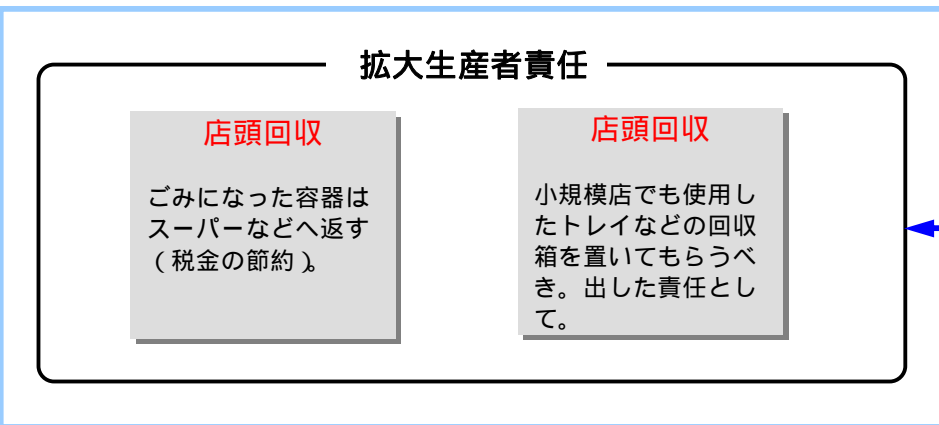
キーワードの抽出

基本的な考え方

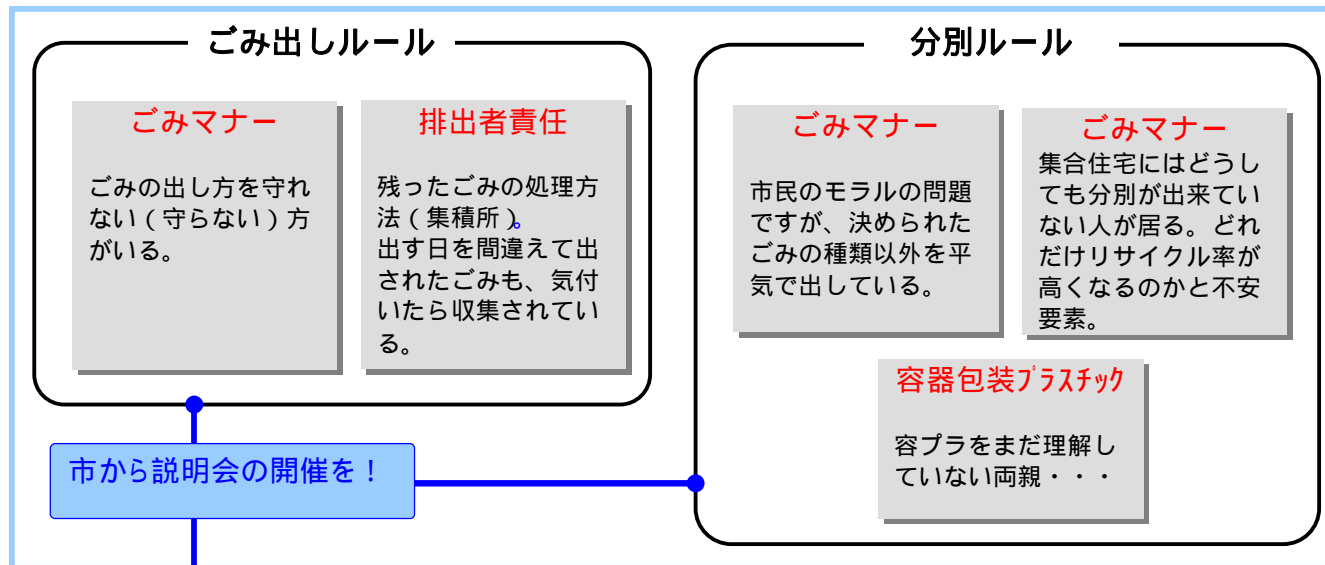
排出

処理

民間を活用した収集システム

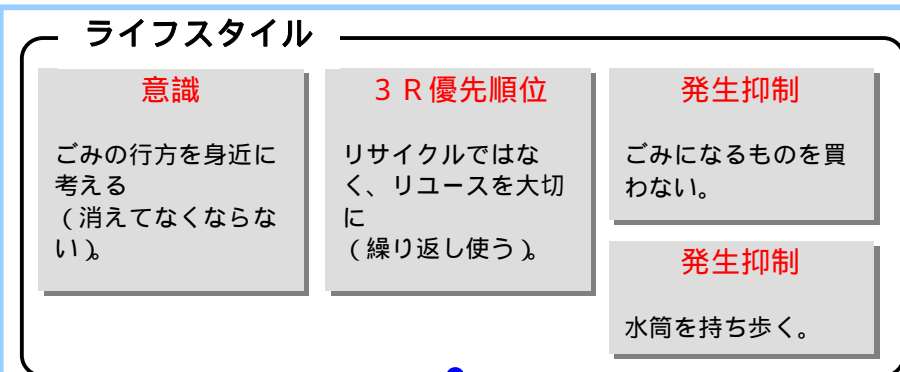


分別および集積所の現状

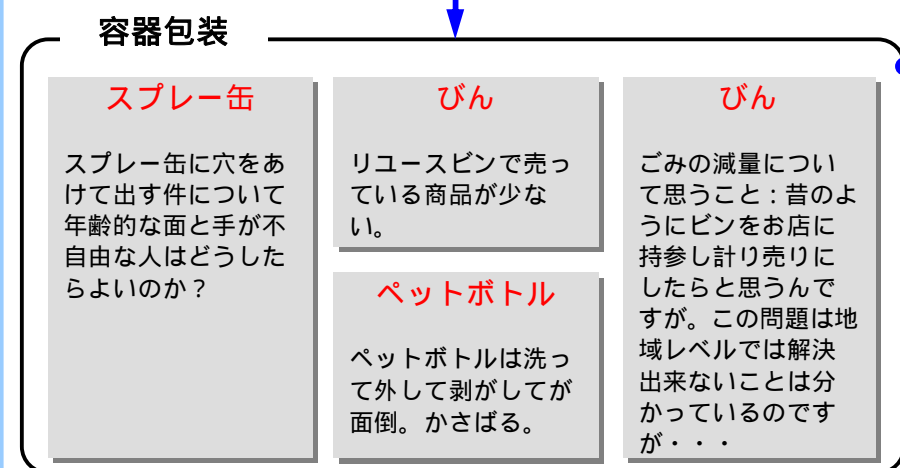


排出者の減量努力の前に、生産者責任を前提とした、ごみを出さない社会づくりが重要!

社会の現状



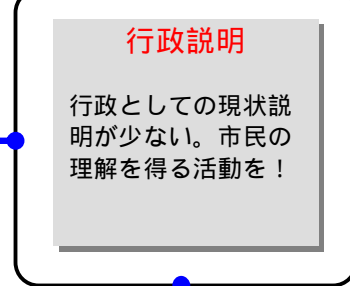
容器そのものに問題あり!



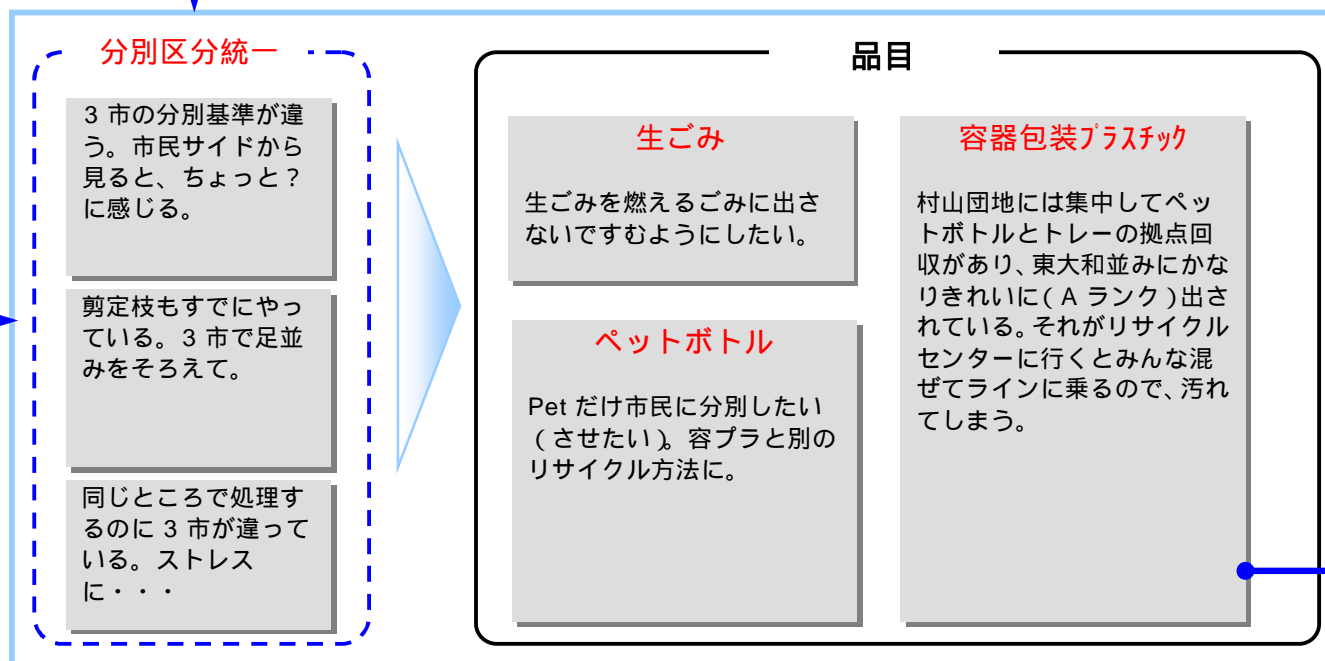
3Rを目指したライフスタイルの啓発

容器包装を中心とした分別区分の見直しを!

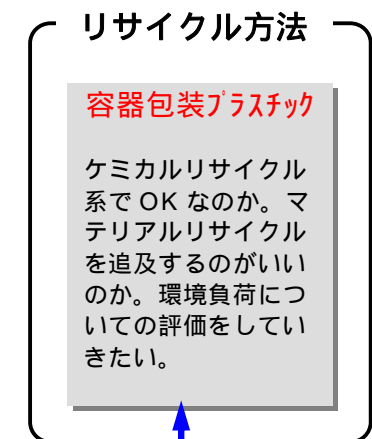
啓発



目指すべき分別基準



より環境負荷の少ない方法でリサイクルを!







## 意見のまとめ

### A グループ（小平市）

#### 問題点の種類

市民参画	広報	品目数	ごみの出し方	集積所	収集（車）
家電リサイクル	施設のあり方				

#### 意見の要点

「市民みんなでごみ減量への取り組む」ことが重要であり、そのような市民の参画による取り組みが、ごみに関する諸問題の解決に不可欠なものとする。ただし、ごみや資源の分別区分については、多いのが良いのか、少ないのが良いのか、市民一人ひとりの意見が大きく分かれるところであり、合意形成が難しいことが懸念される。

また、回収方法や出し方のマナーに問題があり、それらを解決することが必要であるとともに、分別区分や出し方のより詳細なわかりやすい情報提供を求める。

### B グループ（東大和市）

#### 問題点の種類

事業者責任	社会システム	リデュース（減量化）	リユース（再使用）	
リサイクル（再利用）	生ごみ	情報	分別	施設のあり方

#### 意見の要点

大量消費・大量リサイクル型のリサイクル重視のシステムとなることに問題があり、3Rの優先順位に則り、あくまでリデュース・リユースを重視したシステム構築が望ましい。特に、流通システムや店頭回収などにおいて事業者の責任をさらに求め、ごみを出さない社会づくりをしていく必要があるのではないかと考える。

また、減量施策は定性的なものではなく、有料化のような大きな効果が得られる施策の導入をもっと検討することが必要だと考える。特に、減量の余地がある品目としては、「生ごみ」があげられ、既存の手法として「ディスポーザー」や「生ごみ処理機」などがあるが、社会全体の環境負荷を低減する手法を検討していくべきであり、分別区分などと併せて、そのような情報についても、もっと市民に提供して欲しい。

なお、分別区分が増えると、家庭での保管量も増えるので、収集回数を増やすなどして、分別区分と収集頻度の最適化を目指すことが必要だと考える。

このような、リサイクルの前段階での諸問題の解決を目指した上で、必要な施設を検討していく必要があるのではないかと考える。

## C グループ（武蔵村山市）

### 問題点の種類

リサイクル方法	分別基準	拡大生産者責任	容器包装	ライフスタイル
分別ルール	啓発	ごみ出しルール		

### 意見の要点

社会の現状として、市民一人ひとりのライフスタイルの問題があり、特に容器包装に関する問題が多いが、排出者である市民の減量努力の前に、生産者責任を前提とした「ごみを出さない社会づくり」が重要である。

また、分別および集積所の現状として、排出ルールを守らない市民や、容器包装の分別を理解していない市民がいるので、行政からの十分な説明が必要であり、ごみを出さない社会づくりに向けた啓発と併せて、行政からの情報発信を求める。

さらに、同じ処理施設に搬入している3市の分別区分が異なることは問題であり、見直しが必要だと思われる。特に、「生ごみ」「ペットボトル」「容器包装プラスチック」については、現状の処理システムの改善が必要ではないか。

なお、容器包装プラスチックの処理方法として、ケミカルリサイクルとマテリアルリサイクルがあるが、どちらが良いのか、より環境負荷の少ないリサイクル方法を目指す必要があるのではないか。